

介護

VOL.25

2011.11.30

- ① 第26回 **小山田温泉祭り** 11/5~6 **開催**しました。
- ② **防災訓練** 9/1 を全体で実施。
- ③ 第34回 **サマーセミナー** 7/9 に開催。
- ④ 物故者慰霊合同法要 7/12 に執り行いました。
- ⑤ 青山里会 **感謝祭** 6/4 に行いました。
- ⑥ **祝** 敬老・ガーデンパーティ 9/10 9/16 に開催しました。
- ⑦ **小山田温泉夏祭り(盆踊り大会)** 8/4
- ⑧ **コミュニケーション広場** 11/12-13
第11回レジデンシャルケア研究会議
(四日市大会を終えて)

発行 社会福祉法人 **青山里会**
せいざんりかい
四日市市山田町5500-1
☎059-328-2177
<http://www.normari.jp>

H23.11.5 四日市市長が小山田温泉祭りにご来場くださいました。



川村陽一理事長

田中俊行四日市市長



青山里会は、年齢や障がいの有る、無しに関わりなく、すべての人が平等に、豊かに、安心して暮らすのがあたりまえで、普通のことであるという思想、ノーマリゼーションを理念として、福祉事業の充実に努めています。

第26回 小山田温泉

キッズ
ワールド



小山田
温泉郷

FUAFUA™



きじの湯庵

福島県産
ギョーザ



足きじの湯



パレード

前夜祭



ひつまみ汁



祭り11/5・6 開催しました

ご来場者 約4,500名
多くの方にお越しいただくことができました。

おまつり
広場



田中俊行四日市市長にご来場いただきました。



紙しばい



いきいき
安心生活館



こうした人の輪が、もっともっと広がっていけば、
より大きく強い絆が地域に芽生え
人と人が互いに助け支えあっていける街が
築かれていくのではないのでしょうか。
大いに助け合える社会をこれからも
目指していければと思います。

23年度 青山里会 防災訓練の実地

9月1日

震度6強の地震が発生、多くのけが人、負傷者、建物の倒壊の恐れあり、主だった職員が(あおぞらホール)に集結し、避難先の確保及び負傷者の対応、食材の確保、炊き出し、情報の収集に向け対策本部を立ち上げ、迅速に対処できるよう訓練を行いました。

地域に向けての対策も視野に置き、車両を出動させ迎えにいく訓練も実践しました。

- 本部(本部長・福本部長・参謀役)
- 生活支援介護・生活班への指示
- 施設管理への指示
- 救護班への指示
- 居住・生活環境整備管理班への指示
- 食事調達・支給管理班への指示
- 地域住民受入班への指示
- 移送運搬車両班への指示
- コミュニケーション

このように昨年度に続き、法人全体としての訓練を実地し、その内容から課題を見つけ出し、本当に東日本大震災のような状況に陥った場合に、当本人が行政、地域と一体となって、対処できる仕組みを築き上げていければと思います。



物故者慰霊合同法要

7月12日

今回の物故者慰霊合同法令は昭和58年の第一回を営ませて頂きましてから、今年で15回を数えます。当法人は設立以来、医療と福祉の充実のため、日夜努力してまいりましたが、長い年月の間には当法人の病院や施設を安住の地と定められ、天寿を全うし、旅立たれた方々が数多くおられます。

私たちはその方々をしのび、今後の医療と福祉の充実の発展のため、より一層努力を尽くしていく所存でございます。



喪主御礼挨拶

社会福祉法人青山里会
医療法人社団 主体会
理事長 川村陽一



第34回 サマーセミナー

7月9日



今回、東日本大震災を受け、私達福祉医療機関としての役割と対応について、今一度、震災に対する備えや支え合っていく姿勢を見つめていくべき課題として定義することになりました。講義テーマも震災地に様々な立場から支援に行ってこられた青山里会・主体会スタッフより報告してもらいました。

- ①慢性腎臓病の最近の話題と検尿の重要性〔藤田保健衛生大学 医学部 腎内科学教授 湯澤由紀夫先生〕
- ②3テスラMRIによるガン診断〔主体会病院 画像診断部長 中村和義先生〕
- ③サンダーバード〔災害福祉広域支援ネットワーク〕としての活動報告〔磯貝学副施設長〕
- ④医療法人主体会 医療救護班の活動報告〔村島正幸副院長〕
- ⑤日本精神神経学会等による災害支援委員会としての震災とストレスの心のケアの活動報告として〔川村憲市院長〕

青山里会感謝祭を開催

6月4日

この度、青山里会では、昨年につき、感謝祭37を開催するにあたり、職員が今日まで元気に働くことができるのは、家族の支えがあつてのことであり、ご家族の方たちには、職員の皆さんがどんなところで働いているのかを見てもらい、知ってもらえるチャンスでもあり、職員の手作りの催しを開催しました。そして今回の催し（感謝祭）では以下3点を掲げて取り組んでいくことになりました。

- ①職員同士が支え合つて創りあげていく。
- ②職員の楽しみでもあるクラブ活動を活性化させていき、楽しい職場環境の促進を目指す。
- ③全職員が団結して役割を持ちあつて取り組んでいく

日頃、仕事が大変で、なかなか家族サービスができないでいる、お母さんやお父さんもこの日は家族、職員みんなで、共に楽しい日々を送ることができたように思えます。きっと、来年の今頃には、またご家族の皆さんと共に、素晴らしき日を迎えられることを願っています。そして、これからも皆で青山里会を共に支え合つていければ最高ですね。

川村理事長の
オープニング挨拶で、
GO-GO-GO



小山田温泉 夏祭り 盆踊り大会

暑~い夏に青山里会

地域の皆様と施設のご利用者、

日本ふるさと祭り
 沖縄 (カチャーシ)
 徳島 (阿波踊り)
 岐阜 (郡上かわさき)
 関東 (東京ばやし)
 福島 (相馬盆踊り)



青山里会
OHC48



また、来年も
楽しく踊りましょう♡
ありがとうございました。



2011年の夏祭り盆踊り大会も大成功で終わることができました。

ご来場数も4000人を超えて、子どもからお年寄りまで幅広い方にお越し頂くことができ、誠に有難うございました。

来年の盆踊りにも更に励みになります。

今年は16:30～21:30とちびっ子にも楽しく過ごしてもらえよう、夕方からイベントをはじめ、青山里会OHC48(H23に結成し)ちびっ子達とダンスやシルエットクイズをし、盆踊り開催時間までの間、みんなで楽しく盛り上がる事ができました。夜店では金魚が大人気で、すぐに閉店になる程でした。

復興支援ライブを盆踊り版に代え、沖縄カチャーシ、徳島の阿波踊り、岐阜の郡上音頭、東京ばやし、福島の相馬踊りの曲を流し、南から東北地方までの踊りで、皆で大いに盛り上がる事ができました。

20:40になると恒例の花火を打ち上げ、施設のお年寄りやご来場にお越し頂いた方の目をくぎ付けにすることになりました。

この打ち上げ花火は、職員らの共済を得、それぞれの思い「メッセージ」を込めて打ち上げられました。

OHC48結成

ご家族と楽しい日々を

敬老 ガーデンパーティー 小山田商店街

平成23年度の敬老行事

恒例の「ガーデンパーティー」

11:30スタート

今回、9月9日10日（土、日）にガーデンパーティーを開催しました。本来、先週の3日4日の開催の予定でしたが、台風の影響で1週間遅らせての開催となりました。当日は、会場を7つの拠点に分けて行いました。



ご家族もステージに上がり、生バンドで「ダイアナ」を熱唱してくれました。そこには、ひ孫、孫、子たちの輪も広がり、この日ばかりは、おじいさん、おばあさんの笑みが会場一杯に溢れていました。



職員がお祝いの手づくりケーキを作りました。最後に利用者・ご家族・職員と一緒に頂きました。



ケアハウス常磐の皆様と一緒に川村理事長もハーモニカで「赤とんぼ」を演奏。

小山田商店街

この度、老人福祉施設（青山里山）では、恒例となる「小山田商店街」を9/14に開催しました。

普段の日常生活の中では味わうことがなかなかできない（食）の雰囲気を楽しんでもらえるよう、「お好み焼き、みたらし団子、和菓子、うなぎ、オムライス、サンドウィッチなど」を食する環境として、施設を商店街に早変わりさせてみました。好きな食べ物を存分に味わってもらおうと、もう30年近く開催してきた催しです。



また、女性の方達は、衣類店も施設内に設けましたので、職員やご利用者同士で「これ似合うかしら!笑」と色々な服を手にとって、悩みながらも楽しくショッピングをされていました。特に今年からは外出してお寿司や中華も食べてもらえるよう外出サービスをトッピングしてみました。街のお店側も、車いすの方が気軽に食べられるよう気を配って下さりました。



ご利用者とご家族と楽しいひと時を過ごすことができました。これからもお年寄りの幸せを第一に考え、日常生活を支援していきます。どうかご家族及び地域住民の皆様、これからも温かく見守って頂くことができれば幸いです。

第11回レジデンシャルケア研究会議 (四日市大会を終えて)

「新たな介護・福祉・居宅サービスの 創設と経営戦略の転換

～新たな地域密着型サービスや総合サービスの創設
サービス付高齢者向け住宅のあり方をきる～



川村陽一 発起人代表 大会長によるあいさつ



内閣官房
社会保障改革担当室長
中村秀一氏



国交省関東地方整備局
副局長 菱田一氏

この11月12日(土)の初日には、内閣官房 社会保障改革担当室長 中村秀一氏、国交省関東地方整備局副局長 菱田一氏、埼玉県和光市長寿あんしん課課長 東内京一氏の講演を聴き、2日目のワークショップでファシリテーターを務める桜美林大学大学院の白澤政和教授の下、ご来場いただいた様々な分野(介護・福祉・医療・行政・研究等の各分野)からスピーカーとして5人の方々に、現在取り組んでいる事業活動について、ご報告いただきました。さらに、会場からも自由な発言をいただき、活発な討論を講じることができました。

最後に、日本社会事業大学専門職大学院 藤井賢一郎準教授よりご助言を頂き充実した研究会議として、四日市大会を終えることができました。



桜美林大学大学院
白澤政和教授



日本社会事業大学
専門職大学院
藤井賢一郎準教授



会場全体の様子(ワークショップ) 報告者 青山里会 西元幸雄常務理事